

BUNGAKUZA TSUSHIN 2026.9 Vol.805

文学座通信

- 創立90周年記念ロゴ発表
募集要項／選評……………1
デザイナーメッセージ——東 洋平……………2
- 90周年記念公演 第1弾 本公演『みつ豆』…2～3
- アトリエの会『あしあと』……………4～5
- 幕間(まくあい)……………廣田高志……………6
- 地方公演『欲望という名の電車』……………7
- アトリエ短信……………8

来年9月6日に文学座は創立90周年を迎えます



その節目を記念するロゴマークが公募で決定いたしました!

デザイン: 東洋平氏



Littéraire Théâtre

フランス語で「文学」+「劇場・演劇」

座名およびロゴマークは劇団創立メンバーの一人である岩田豊雄による発案

文学座90年の持続と蓄積の土壌から、新しい果実を収穫する。その新しい果実は、次の90年を生きる糧になるはずです。リスクのない創造はない。そして、創造のない『継承』は有り得ない。文学座のアトリエに象徴される『歴史』や先人たちの『記憶』と共に、新たな未来へ向けて力強く進んでいけるようなイメージを募集します。(公募のメッセージより)

▼応募総数 79作品

▼募集期間 2026年4月1日(水)～30日(木)

▼選考過程 90周年プランニングチームによる一次選考で28作品に絞り、全座員による投票で最終選考を実施。票が割れたため、改めて上位5作品で最終決選投票を行なった(この5作品も同票もしくは1票差)。最終決選投票により、1票差で今回のデザインに決定した。

採用作品は、2026年10月から2028年3月までの90周年期間を中心に、文学座の公演チラシ、ポスター、パンフレット、ウェブサイト、SNS、グッズ、その他劇団の広報および活動に関する制作物に使用する。

■選評■ 今回、文学座創立90周年という大きな節目にあたり、これまで以上に皆様との交流を深め、輪を広げるべく、新たな試みとして、創立90周年記念ロゴマークのデザインを広く募集にいたしました。さまざまな方に情報が届くように努力はしたものの、「応募が来なかったらどうしよう……」とも思いました。しかし、蓋を開けてみると、予想を上回る合計79件の作品が集まりました。文学座の90年を共に考え、それぞれの感性で形にしてくださった全ての作品が心から嬉しく、大きな励みにもなりました。

全座員による最終決戦投票では、僅差での決定になりました。改めて、文学座が十人十色の集まりであることを実感する良い機会にもなりました。

最終決定した^{ひがしやうへい}東 洋平氏のデザインは、シンプルでありながら、一目でわかるデザイン性、そして従来のロゴマークを取り入れつつ、そのデザインが、これからの未来に続いていく梯子や道にも見え、90周年のその先に向けて進んでいきたいと願う私たちの精神を反映しているように感じました。

創立90周年に際して『継承と爆発』というキャッチフレーズを掲げ、長い歴史を受け継ぎながら、新たな未来へ向かっていく劇団の節目に、東様の作品を旗印として進んでいけることを、大変嬉しく思っております。日頃から文学座を支えてくださっている皆様にも気に入っていただけなら幸いです。

改めて、ご応募いただいた皆様、そして関心を寄せてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

アトリエ短信

■ 新宿高島屋開店30周年記念ワークショップ
新宿高島屋開店30周年を記念したスペシャルワークショップを紀伊國屋サザンシアターにて開催します。

①「つながる、ひろがる、ことばとひらめき。」

◇ 9月22日(火・祝) 11時～14時

◇ 講師 植田真介(附属演劇研究所主事)、

永川ゆり、日景温子(演技部)

◇ 対象 小学校3年生～中学校2年生

◇ 定員 20名

②「客席から、舞台へ。」

『夏の夜の夢』を創る2日間

◇ 9月22日(火・祝)、23日(水・祝) 15時～19時

◇ 講師 西川信廣(演出部)

◇ アシスタント 富沢亜古、細貝光司(演技部)

◇ 対象 15歳以上

◇ 定員 20名

③「親子で育む絵本の時間」

◇ 9月23日(水・祝) ①11時～11時50分

②12時30分～13時20分

◇ 講師 三浦純子、藤川三郎(演技部)

◇ 補佐 牧野紗也子(演技部)

◇ 対象 乳幼児・乳幼児保護者

◇ 定員 各10組

◇ ご予約受付 9月12日(土)

正午より ※詳しくは新宿高島屋

WEBページよりご確認ください。

主催 新宿高島屋／企画協力 文学座

■ 相模原市立博物館 プラネタリウムと朗読

◇ 出演 三浦純子(演技部)

◇ 9月12日(土) 15時半～16時半

◇ 相模原市立博物館



◇ 定員 180名 ◇ 料金 1,000円
◇ お申し込み・お問い合わせ 相模原市立博物館 042-750-8030

■ 夏目漱石「坊ちゃん」と演劇ワークショップ

〈事前学習編〉10月12日(月・祝)

10時半～12時半 漱石山房記念館

〈演劇ワークショップ本編〉10月17日(土)

13時～17時 新宿文化センター小ホール

◇ 講師 高柳純子(演技部)

◇ アシスタント 日景温子、杉宮匡紀(演技部)

◇ 対象 小学校3年生～中学校3年生

(新宿区内在住・在学の方優先)

◇ 定員 25名(応募者多数の場合は抽選)

◇ 料金 1,500円

◇ 申込締切 9月11日(金)

※WEBフォームよりお申し込みください。

◇ お問い合わせ 新宿文化センター

03-33350-4839 協力 文学座

■ 三鷹市山本有三記念館朗読会のご案内

三鷹市山本有三記念館で「第21回秋の朗読会」を開催します。

山本有三『真実一路』(抜粋)

◇ 出演 瀬戸口郁、日景温子(演技部)

◇ 11月3日(火・祝) 18時半～20時

◇ 三鷹市山本有三記念館1階展示室

◇ 定員 35名(応募者多数の場合は抽選)

◇ 料金 入館券(300円)が必要です

◇ 申込締切 10月1日(木)

※WEBフォームよりお申し込みください。

◇ お問い合わせ 三鷹市山本有三

記念館 0422-426233

■ 退座

7月31日付で演技部の宮澤和之が、8月31日付で演技部の乃村美絵、演技部準座員の隅田璃南が退座しました。



出演情報 ◎追加情報は文学座HPにて

★宝意紗友莉：『ハリー・ポッターと呪いの子』(J.K.ローリングオリジナルストーリー、ジャック・ソーン オリジナルストーリー・脚本、小田島恒志・小田島則子 訳、ジョン・ティファニー オリジナルストーリー・演出) 7/2～12月末 TBS 赤坂ACTシアター

★浅野雅博：『アメリカン・ドリーム』(三谷幸喜作・演出) 8/15～9/13 PARCO 劇場(渋谷)、9/17～20 京都劇場、9/24～27 札幌市教育文化会館、10/1～4 岡山芸術創造劇場ハレノワ ほか

★鬼頭典子：『ひまわり認定こども園の悩める人々』(山谷典子作、小笠原響 演出) 9/2～6 シアターグリーン(池袋)

★富沢亜古：『出ニッポン酔夢譚』(瀬戸口郁作、高橋正徳 演出) 9/3～6 東京芸術劇場シアターウエスト

★石橋徹郎：『家族…リハーサル』(ジル・ディレック作、山上優 訳、鶴山仁 演出) 9/3～13 中野ザ・ポケット

★椎原克知、山田里奈、牧紅葉：『SWAN-Ballet cross Reading-』(有吉京子原作『SWAN-白鳥-』平凡社刊)、小林香 脚本・演出) 9/4～9 新国立劇場 中劇場(初台)

★駒井健介、奥田一平、大石英玄：『リア王』(W.シェイクスピア作、石井美樹子 訳、井上尊品 演出) 9/6～22 新橋演舞場

★高橋耕次郎：『パースデイト～Peace!♪ Smile!♪ NOWAR!!～』(高橋耕次郎作・演出) 9/11～20 TBスタジオ(東京メトロ志茂駅から徒歩3分) ※14・18日休

★斎藤志郎：『うみねこのなく頃に～Stage of the golden Witch～Episode7』(竜騎士07原作、伊藤マサミ 脚本・演出) 9/15～27 こくみん共済coopホール/スペース・ゼロ

★佐川和正、後田真欧：『リア王』(W.シェイクスピア作、松岡和子 訳、森新太郎 演出) 9/21～10/4 東京芸術劇場プレイハウス(池袋)、10/8・9 りゅーとぴあ新潟市民芸術会館

★森寧々：MORINE' 再演 ひとり芝居『VOLE!』(Eva RAMI 作、岩切正一郎 訳、水野玲子 演出) 9/23 調布市せんがわ劇場

★高橋ひろし、石井麗子、奥山美代子：月波兎 第5回公演『おやじの瓢箪』(佃典彦作、五戸真理枝 演出) 9/26～10/4 中野ザ・ポケット

★木津誠之：『ノッキンオン・ロックドドア』(青崎有吾原作『ノッキンオン・ロックドドア』徳間文庫)、浜田秀哉 脚本、堤幸彦 演出) 10/6～25 EXシアター有明、11/7～10 オリックス劇場(大阪)

★sara：『スリーゴースト』(サイモン・ステューヴンス作、広田敦郎 訳、ショーン・ホームズ 演出) 10/6～27 PARCO 劇場 ほか

★渡邊真砂珠：『THE TOMORROW BOX～びっくり箱～』(アン・チスレット 作、吉原豊司 訳、大谷朗 演出) 10/22～25 赤坂レッドシアター